

2017年10月5日

**ポリープ切除をより簡便に行える医療用処置具
ディスプレイザブル高周波スネア「SnareMaster Plus」を発売
コールドポリペクトミー市場へ初参入**

オリンパス株式会社(社長: 笹 宏行)は、ポリープ切除をより簡便に行えるディスプレイザブル高周波スネア「SnareMaster Plus(スネア・マスター プラス)」^{※1}を2017年10月11日から国内で発売します。

スネアは、内視鏡を用いて早期がんやポリープなどの病変を切除する際に用いられる医療用処置具です。その中で、今回発売する「SnareMaster Plus」^{※1}は、粘膜の病変を切除する際に使用され、スネアで高周波を流さずに機械的に切除するコールドスネアポリペクトミー(以下、コールドポリペクトミー)という手技でも使用可能なスネアです。

コールドポリペクトミーは切除時に起きる偶発症のリスク(後出血・遅発性穿孔^{※2})を低減できる可能性があるため、日帰りや外来での治療や治療後の食事制限や運動制限の期間短縮が期待できる手技として、近年広く普及しつつあります。

当社は「SnareMaster Plus」^{※1}を以て、コールドポリペクトミー市場に初参入することになりました。本製品は切除性能を向上させるためにワイヤの細径化を図りながら、病変部をより確実に把持できるワイヤの硬さを実現するなど、コールドポリペクトミーに最適なスペックを追求しており、医師が低侵襲な手技をよりスムーズに行えるようサポートします。これにより、患者さんの社会への早期復帰やQOLの向上に貢献することが可能です。

※1 本製品の愛称。販売名は以下「発売の概要(国内)」を参照 ※2 管状の臓器壁に穴が開いた状態

●発売の概要

販売名	発売予定日
ディスプレイザブル高周波スネア SD-400	2017年10月11日

●主な特長

1. 細径ワイヤでシャープな切れ味を実現し、切除性能の向上に貢献
2. 病変部をより確実に把持できるワイヤの硬さと形状を実現
3. ポリペクトミー^{※3}やEMR^{※4}といった高周波を使用した治療への移行も可能

※3 スネアをポリープの根元にかけて絞りながら、高周波電流を流してポリープを焼き切る手技

※4 Endoscopic Mucosal Resectionの略。早期の胃がんや大腸がんなどの病変組織と正常組織の間に、生理食塩水を注射して膨らませ、スネアで病変を切り取る手技



ディスプレイザブル高周波スネア「SnareMaster Plus」

製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ㈱です。

●主な特長の詳細

1. 細径ワイヤでシャープな切れ味を実現し、切除性能の向上に貢献

直径 0.30mm の細径ワイヤを採用したことで、組織への接触面積が小さくなり、コールドポリペクトミー時の切除性能を向上させました。さらに、ハンドルの力を効率よくスネア先端のループ部分に伝える工夫も施したことで、コールドポリペクトミー時に求められるシャープな切れ味を実現し、スムーズな病変部の切除をサポートします。

2. 病変部をより確実に把持できるワイヤの硬さと形状を実現

細径ワイヤによりシャープな切れ味を実現しながらも、病変部をより確実に把持できるワイヤの硬さを追求しています。これにより、スネアが浮いたり、反り返ることなく、病変部を切除できるようサポートすることが可能です。また、ループを引き込む際に急激に開き幅が小さくならないよう、ループ部分にオリンパス独自の六角形を採用しているため、ループサイズが調整しやすく微小病変へのアプローチをサポートできます。



スネアが病変部に密着し、
より確実に把持することが可能

3. ポリペクトミー※³ や EMR※⁴ といった高周波を使用した治療への移行も可能

本製品は、通常のポリペクトミーや EMR も行えるハイブリッドスネアであるため、コールドポリペクトミーによる小ポリープの切除時に、隆起性病変や癌を疑うような EMR の適応病変を発見した場合でも、スネアを交換せずに通電切除が行えます。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。